輝く２人が対談 まちで噂の人気者 Part11

園芸家 日常に彩を添える

神田　昌紀（まさき）さん　(31)

大学卒業後、竹原町でバラ園「京果園（きょうかえん）」を引き継ぐ。バラ農家歴10年。県内で１番新しいバラ農家。

原　一馬（かずま）さん　(60)

もともと、兼業農家であった実家の土地を継ぎ、専業農家として田万里町でキクを育てる。キク農家歴38年。

―キク農家の原さんと、バラ農家の神田さん。市内で農家を営まれているという点で、同じ思いもあるのではないでしょうか。

神田　花はしゃべってくれないので、「こうなってほしい！」という思いはあっても、なかなかそうならないことがあります。日々、勉強です。

原　そうですね。自分ではどうすることもできないことがあります。雨が必要なときに降らなかったり、そうでないときに降ったり。品種の数はたくさんある？

神田　昔は10品種くらいでしたが、今は30～40品種作っています。

原　うちは路地栽培で、人工的な操作なしで継続出荷していこうと思ったら、１００品種くらい必要なんですよ。

神田　１００品種!?びっくりした！名前が覚えられないですね(笑)

―花の種類によって、それぞれ違うんですね。

神田　ええ。それと、作っていて楽しい品種を作りたくなりますよね。

原　そうそう。遊び心のある品種がいくつかないと、飽きてしまいますね。かと言って、そればかり作ってしまってはいけませんが。

神田　自分が納得できるバラを作って、それを見た人に喜んでもらえると嬉しいですね。

原　まさしくそのとおり。花は生活に必須ではないけれど、見るだけで明るい気持ちになりますよね。

神田　はい。多くの人に花を見てもらいたいですね。

―それが、農業を続けるモチベーションといったところでしょうか。

神田　そうですね。あと、園芸家が増えてほしい。竹原は、農業にとって一番重要な日射量に優れていますから。

原　水もいいですしね。とても恵まれた環境にある。

―では、ベテランの原さんから、神田さんに向けてアドバイスはありますか。

原　アドバイスすることなんてありませんよ。ただ、これから先は、花を売る工夫もしなければいけないだろうし、経営の知識も必要ですよね。目の前のことをこつこつやっていく他にないですね。

神田　全国でバラ農家の交流はあるのですが、意外と市内ではそれがなくて。ぜひ、これからもよろしくお願いします。

かんやだいすけぶうさと白猫

人のうごき

（住民基本台帳登録者数）

人口	２８，７９４人
男	１３，６０７人
女	１５，１８７人
	１２，８３５世帯
１年前	２９，２７２人
５年前	３０，７７３人

－２月１日現在－

ティータイム

寒さも段々と和らぎ、桜の季節が近づいてきました。市内でよく見かけるようになったのは、サイクリングを楽しむ人々。サイクルポート、ぜひお気軽にお立ち寄りください！　と

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便　〒725-8666（住所不要）竹原市企画政策課「市長への私の提案」係　FAX　22-0998　※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

発行／広島県竹原市企画政策課　☎(0846)22-0942　FAX(0846)22-0998
竹原市ホームページ http:www.city.takehara.lg.jp
PRINTED WITH SOY INK（この広報は再生紙・大豆油インクを使っています。）